

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 820300 TEL 2923-2396	
事業コード	資質向上事業	担当部課	教育センター
820307		グループ	研修・研究
開始年度	昭和46 年度	→	終了年度 年度
②事業の概要		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加 根拠法令 教育基本法 教育公務員特例法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
分野別計画・指針			
関連・類似事業			
総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針 地域が信頼する学校づくりの推進
事業開始の背景	新学習指導要領の実施に向けて、「生きる力」を育てるための教育改革が強く求められている。また、教職員の年齢バランスが変化して、若手教員が増えており、全体として教職員の資質向上に向けた研究・研修をより積極的に推進していく必要がある。		
③事業の内容			
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)			
市内小中学校の教員の力量に応じた研修を推進し、もって本市教育の振興に資する。			
対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位
市内小・中学校教員		平成 26 年度	1,350 ¹ 人
		平成 27 年度	1,324 ¹ 人
事業の具体的な内容及び実施方法			
1 2年次教員研修 初任者研修を修了した教員に学級経営などを中心に指導主事によるマンツーマンの指導を行う。 2 研修員 原則として2校目で転入した教員に、担当指導主事による研修を行う。 3 校内研修で指導者を派遣する。 4 専門研究員(学習指導の専門性を高める) 5 各種研修会(主幹教諭・教務主任 等)			
④経費			
＜会計種別＞		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)
一般会計			
予算現額		590	500
決算(見込み含む)		590	492
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		(人) (人)	(人) (人)
正規職員人件費		0.90 人 7,849	0.05 人 433
事業費合計		8,439	925
財源内訳			
一般財源		8,439	925
国・県支出金			
その他()			
※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
⑤実績			
項目名		項目説明	単位
活動実績	研修員研修	研修員人数(平成24年より2年次教員)	人
	指導者派遣回数	延べ派遣回数	回
⑥成果			
項目名		項目説明	単位
成果指標	指導者派遣回数	指導者派遣回数	回
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%
⑦改善点			
(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析	
○経験者研修では、初任者や5年次研修の対象者増加に伴い、新たな施設体験先を確保し、異業種体験の充実を図った。○新任転入管理職研修など、ライフステージに応じた研修を行い、各々の校務分掌に求められる資質能力の育成を図ったり、他校との情報交換の機会を設けたりした。		学校の要請に応じて指導者を派遣しているが、道徳やICT関係の指導依頼が多かったため、日程が重なってしまい、全ての要請に対して対応できなかったため、未達成となった。	
⑧評価			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	理由
	方 今 向 後 性 の 次 年 度 予 算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	教員の資質向上、授業改善の視点から研修内容や研修対象者について見直しを図っていく必要があるため。
評価		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	ベテラン教員の大量退職に伴い、若手教員も急増していることから、ライフステージに応じた研修の更なる充実について検討していく必要があるため。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性
○2年次教員や研修員を対象とした研修会では、道徳や学級経営を中心とした研修内容に絞り込み、若手教員の指導力向上を図っている。○大学教授から専門的な指導を受けながら研究を推進する専門研究員は、学校からのニーズに合わせ、算数・数学、理科、音楽、道徳、特別活動の5研究部による研究を行っている。		○次期学習指導要領の改訂に伴い、「学び続ける教師」として、今後もライフステージに応じた、きめ細かな研修が実施できるよう検討を続けていく。○特に、急増する若手教員の授業力・指導力の向上や、ベテラン教員の技を伝承していく取組について検討する。	
評価日	H28.8.15	評価者職氏名	所長 米澤 三八子
⑨環境影響			
有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成
		規制を受ける環境法令等	無
		緊急事態	無